

町の話

ふれあい夏祭り

新しい試みに挑戦!

高花台二丁目

8月5日の日曜日、高花台二丁目の夏祭りが町内の公園で行われました。今年の祭りでは恒例の催し物に加え、新たにカブトムシと金魚のプレゼントや若者集団「若高」の結成に挑戦してみました。

「子供達に夏祭りらしいプレゼントを」と計画してみたものの生き物は初めて。何もかも手さぐりでしたが、カブトムシは県内の個人の方から雄雌の70組を一万二千五百円で入手。受け取りの時は一匹ずつ百四十個の透明のカップに入っていました。カップのまま渡してはママさんが大変ですので、「100均」で虫カゴを手に入れ木くずや落ち葉にエサのゼリーも添え雄雌ペアでプレゼントしました。

金魚は奈良県の業者



からネット通販で五百匹を九千五百円で購入。酸素水袋に入れられ当日到着。添付の取扱書には水温30度以上はリスクが高いので要注意とありました。祭りが当日は39度の酷暑。水を入れての温度管理にてんやわんやの一日でした。新しい試みの目玉は若者の集まり「若高」の結成でした。「祭りの設営は年寄りでは大変。若い人にやってみてもらえないか」との声が以前から

ありました。取っかかりがつかめないままでした。たまたま今年の自治会役員に5人の若者が選出されました。チャンス到来です。とりあえず市民運動会3位入賞の立役者となったヤングパパさんや自治会役員経験者の若者達に参加を呼び掛けることにしました。「何人参加してくれるか神頼みだな」と思っていました。なんと20人から参加の返事。祭りが当日は17人の若者が朝早くから深夜におよぶ後片付けまで頑張ってくれました。中には「もつと早く声を掛けてもらいたかった」「以前から協力したかった」の声もありました。

「若い人は地域の活動に無関心」という既存概念にとらわれず「まずは声掛け」の必要性を実感した祭りでした。

高花台二丁目生涯学習奨励員

馬場 康夫

春夏秋冬

友と訪ねた「風の盆」旅

小神明町生涯学習奨励員 牧野 進

今年も越中八尾で「おわら風の盆」が始まった。9月初めのテレビニュースで放映されていた。毎年9月の1日から3日にかけて富山県の八尾市で開催される。「夏の風物詩」となっている。1年前の同じ日に、私は昔の学友9人と共に、この町に居た。

東海在住者は名古屋経由の高速道路を車で。近畿在住者は米原経由の特急列車で。そして関東在住者は北陸新幹線で。宿となる友の家の大広間には既に布団が9つ敷かれていた。夜の10時過ぎに車2台で八尾市へ向けて出発。

提灯や行燈に飾られた石畳の町並み。夜も更け、見物客も少なくなった通りの片隅から聞こえる二胡を奏でる音、そして編笠を深くかぶった踊り手たち。その楚々とした姿にしばし見とれる。これが、あの「風の盆」か!

念願の「盆踊り」を堪能した翌日は、霊峰立山に向かった。好天に恵まれ、久しぶりの友との再会で意気投合した北陸の旅は、数年ぶりの時を縮めてくれた。

富山入りは3つのコース。

10月の主な行事予定

- 10月14日(日)第54回芳賀地区市民運動会(芳賀公園)
- 10月21日(日)三世代グラウンドゴルフ大会(芳賀公園)
- 10月28日(日)芳賀体協軟式野球大会(芳賀公園)

